

2025.6.13.fri

第2期

小泉

小・マ・マ・

イナタ・ノ・カワイ・テガミ・アリマス

ロタシ・ヨロコブ

2025年後期
連続テレビ小説
ばけそげあけ
しげしげ
主人公のモデル

ラフカディオ・

ハーンめ
やいづのバカラ・

妻として

生きて

カワイ・マン・ニ・

小泉八雲

主催—小泉八雲記念館

共催—一般社団法人八雲会 松江市

協力—池田記念美術館、小泉家、鉄の歴史博物館、富山大学附属図書館、松江歴史館、焼津小泉八雲記念館

後援—朝日新聞松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、日本経済新聞松江支局、産経新聞社、

共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、山陰中央新報社、中国新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局

TSKさんぽん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルテレビ、ラネエ山陰、ラネエいも

Lafcadio
Hearn's
Wife

Koizumi
Setsu

2026.9.6.sun



小泉八雲記念館



最新情報はウチサイト、SNSで
www.hearn-museum-matsue.jp
X @

開館時間—「4—9月」9時—18時（受付終了17時30分）「10—3月」9時—17時（受付終了16時30分）
入館料—「大人」600円「団体」480円「松江市民」300円「小中学生」300円「団体」240円「松江市民」150円
小泉八雲記念館旧居2館共通券—「大人」800円「小中学生」400円
〒690-0872 島根県松江市奥谷町322
「電話」08552-21-2147「ファクス」08552-21-2156

あけ
そげ
ばけ



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

小泉セツ | 小泉家

小泉八雲からセツ宛書簡 | 1901年7月25日、1904年8月19日 | 焼津小泉八雲記念館

「背景」セツの織見本帳 | 小泉八雲記念館

Koizumi Setsu | The Koizumi Family

Letter from Lafcadio Hearn to Setsu | July 25, 1901 and August 19, 1904 | Yaizu Lafcadio Hearn Memorial Museum

BACKDROP: Samples of weaving by Setsu | Lafcadio Hearn Memorial Museum

2ND PERIOD: Jun 13 2025–Sep 6 2026 | Lafcadio Hearn Memorial Museum



In 1890 (Meiji 25), Lafcadio Hearn travelled to Japan. In Matsue, he was fondly known as "Herun san", and it was here that he met his wife, Koizumi Setsu, the daughter of a Matsue samurai. Of Koizumi Setsu's 64 years, she spent 15 years and 8 months with her husband. Perhaps this was the period during which she felt most fulfilled and her talents were able to shine.

The exhibition will focus on this woman who lived as a wife of a Westerner with strength and grace. This exhibition aims to shine a light on the life of Koizumi Setsu, the greatest contributor to the creation of Hearn's retold literature. We hope visitors will enjoy the exhibition alongside the NHK morning drama "Bake Bake".

CHAPTER 1

Setsu's early life

CHAPTER 2

The Story of Setsu and Hearn

CHAPTER 3

Mrs Koizumi Yakumo

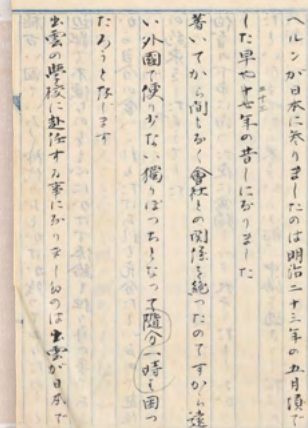


小泉セツ(1868—1932) ハーンの再話文学 創作における 最高のアシスタント

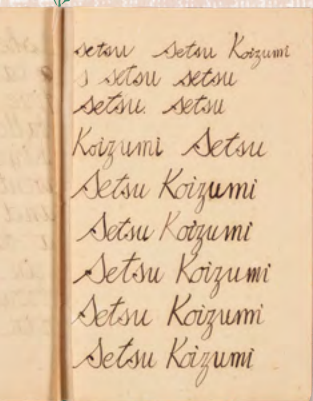
1 890(明治23)年、アメリカから日本にやってくるラファディオハーン。松江では「ヘルンさん」と親しまれたその人の妻となつたのが、松江の士族の娘小泉セツでした。小泉セツが、64年の生涯を通して夫とともに過ごしたのは13年8ヶ月。おそらく彼女が最も生き甲斐を感じ美しく輝いていた時期だったでしょう。本展は、西洋人の妻としてたくましくたおやかに時代を生き抜いたひとりの女性にフォーカスしていきます。夫の再話文学創作における最大の功労者、小泉セツの生涯に光をあてることにより、セツというフィルタを通して作家ラファディオハーンを見つめなおしてみたいと思います。NHK連続テレビ小説「ばけばけ」の放送とともに楽しみたいと思います。

第一章 セツの生い立ち 第二章 セツとハーンの物語 第三章 小泉八雲夫人

本を見る、いけません。
ただあなたの話、あなたの言葉、
あなたの考えでなければいけません。
——小泉セツ「思い出の記」



- 1 家族写真(神戸時代) 小泉家
- 2 セツの織見本帳 小泉八雲記念館
- 3 小泉セツ「思い出の記」(浄書) 池田記念美術館
- 4 セツの化粧道具 小泉八雲記念館、小泉家
- 5 セツのルーペ 小泉八雲記念館
- 6 セツの筆記体練習帳 池田記念美術館



「JR松江駅から」●くろと松江レクリエーションバス約16分「小泉八雲記念館前」下車●路線バス約14分「堀見橋」下車、徒歩5分「堀見橋」下車、徒歩約20分「P」専用駐車場は、さきまの、最寄りの駐車場(有料)とご利用ください。



展示会情報、関連イベントの詳細は、ウェブサイトで等でお知らせいたします。

会場 島根県立美術館(島根県松江市神門町1-5)
聴講無料 事前申し込みが必要で、受付開始は各1ヶ月前より
企画協力 羽田昭彦氏(小泉八雲セツの普及コーディネーター)

講師 宮澤文雄氏(島根大学法文学部准教授)

5 ヘルンとセツの架け橋 西田千太郎

2026年5月1日(日) 14時

講師 嘉本伊都子氏(京都女子大学現代社会学部教授)

4 ラファディオハーンはなぜ「小泉八雲」になつたのか? 国際結婚の歴史社会学的考察

11月30日(日) 14時

講師 小宮由氏(翻訳家、この文庫主宰)

3 声に出して読みたい「怪談」

11月8日(日) 14時

講師 小宮由氏(翻訳家、この文庫主宰)

2 セツの語りと八雲の創作

越境文学としてのKWADAN

9月7日(日) 14時

講師 那須野絢子氏(常葉大学外国語学部講師、焼津小泉八雲記念館アドバイザー)

1 対談

ひ孫から見たセツドラマ制作者から見たセツ

7月27日(日) 14時

講師 橋爪國臣氏(NHK連続テレビ小説「ばけばけ」制作統括)

小泉八雲夫人 小泉八雲セツ曾孫

小泉セツをもっとよく知るための
レクチャーシリーズ